

浜辺にて涙そうそう

沖縄の魅力は何といっても美しい海ではないだろうか。コバルトグリーンに輝く海の色は南国の証明である。沖縄本島の南に位置する美しい海岸線沿いに新原ビーチがあった。暫しそこで果てしなく広がる緑の海と白い砂浜、そして大空に包まれる中、久しぶりに自分自身と対話する時間が持てた。大自然の中での語らいは一曲のハミングとなって口ずさまれた。このロケーションから醸し出されるにピッタリのメロディーであった。

その曲名は「涙そうそう」森山良子作詞で沖縄出身の夏川りみの歌声が聞こえてくる。

「♪～古いアルバムめぐり ありがとうってつぶやいた いつもいつも胸の中 励ましてくれる人よ 晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔 思い出遠くあせても おもかげ探して よみがえる日は 涙 (なだ) そうそう

一番星に祈る それが私のくせになり 夕暮れに見上げる空 心いっぱいあなた探す 悲しみにも 喜びにも 想うあの笑顔 あなたの場所から私が 見えたら きっといつか 会えると信じ 生きてゆく

晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔 思い出遠くあせても さみしくて 恋しくて 君への想い 涙そうそう 会いたくて 会いたくて 君への想い 涙そうそう～♪」

タイトルの「涙 (なだ) そうそう」とは沖縄の言葉で「涙がぼろぼろこぼれ落ちる」という意味である。私はこの歌を今は亡き愛する母に想いを寄せて歌った。 撮影 2012 年春

